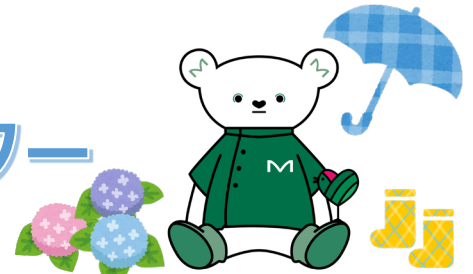


# 災害対策推進・教育センター

VOL.21 2024 年 6 月号

かわら版



## Topics ANPIC の登録は済んでいますか？

ANPIC とは、災害発生時に職員みなさんの安否を確認できるシステムです。インターネットを介して簡単に自身の安否を報告でき、当院のように多数の職員がいる場合でも、科長や師長などの管理者が一元管理できるため、効率的です。自宅にいても簡単に安否報告ができるアプリでの登録がおすすめです。

### 登録方法

#### 1 まずはアプリをインストール



#### 2 アプリ起動

- (1)ANPIC アプリを起動し、さらに三重大学用の ANPIC を起動させるための QR コードをカメラで読み込む
- (2)ログイン ID・初期パスワードを入力後、ログインボタンを押す



#### 3 メールアドレス設定

- (1)アプリ内安否報告のページから、[☰ボタンをタップし Web サイトにアクセス](#)
- (2)[「三」ボタンをタップしアカウント設定画面へ](#)
- (3)メールアドレス編集をタップ  
病院外でも安否報告や ANPIC からの通知が受けられるよう、メールアドレス 2・3 に最低 1 つ、ご自身がプライベートでお使いのメールアドレスを入力してください  
※メールアドレス 1 は未登録となっていますが、元から病院用のメールアドレスが設定されているため設定不要です。



LINE による登録で不具合が多発しているため、必ずアプリをインストールしてください！

## どうして ANPIC 入力が必要？

災害時には全学一斉に安否確認メールが送信され、構成員が ANPIC に、本人の安否（無事・軽傷・重症）、現在地（自宅・学内・学外・帰省先）を入力することで、管理者が職員全体の安否を把握することができます。

発災時に院外・学外にいる者の安否確認手段となり、安否確認や勤務支援に繋がるため、ANPIC の入力はとても大切なのです。



## Column EMIS 訓練始めました

今年度から三重県定例 EMIS（広域災害救急医療情報システム）訓練を毎月センターにて行います。災害時に EMIS 担当となる総務課、医事課、看護部のみなさまはぜひご参加お願いいたします。

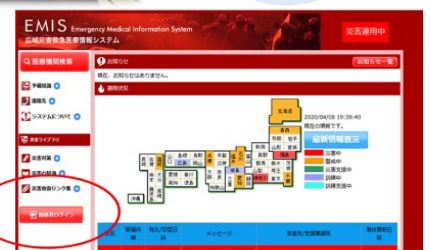
～今後の訓練スケジュール～

| 年    | 月   | 木曜日 | 金曜日 |
|------|-----|-----|-----|
| <R6> | 6月  | 13日 | 14日 |
|      | 7月  | 11日 | 12日 |
|      | 8月  | 8日  | 9日  |
|      | 9月  | 12日 | 13日 |
|      | 10月 | 10日 | 11日 |
|      | 11月 | 14日 | 15日 |
|      | 12月 | 12日 | 13日 |
| <R7> | 1月  | 9日  | 10日 |
|      | 2月  | 13日 | 14日 |
|      | 3月  | 13日 | 14日 |

※毎月第2木曜日の8時30分から金曜日17時まで



4.5 月の  
訓練の様子





### 災害対策コーディネーター 広平理絵です

災害対策推進・教育センターにてBCP策定  
や渉外、備蓄品の管理等を担当します。

## Topics

### 5/21（火）黒エリア運用についての講義を いただきました

当院では、災害レベル 3 と決定した場合、通常診療中止・多数傷  
病者受け入れ体制をとります。その際、治療の緊急度に応じてトリアー  
ジを行い、4つのエリアに分けて治療を行います。緑エリア、黄エリア、赤  
エリア、そして黒エリアです。

| 病態  | 疾患                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 黒タグ | 死亡もしくは回復の見込みがない病態<br><br>呼吸をしていない、脈が触れないなど<br>生命兆候のない疾患<br>例) 窒息、高度脳損傷、心臓停止、圧迫、脳死、除脳硬直、<br>心大血管損傷、心臓破裂                              |
| 赤タグ | 最優先の症例で緊急治療<br>もしくは直ちに病院搬送が望ましい病態<br><br>生命の危機的状態にある疾患<br>例) 腹腔内出血、ショック、血気胸、気道閉塞、呼吸困難、<br>大量出血、胸部開放創、多発外傷、クラッシュシンドローム、<br>多発骨折、意識障害 |
| 黄タグ | 優先度第2位の病態<br>赤タグの対応が終了次第治療にあたる病態<br><br>2〜3時間処置を遅らせても悪化しないと考えられる疾患<br>例) 開放骨折、中度熱傷、背髄損傷、頭部外傷、大骨折                                    |
| 緑タグ | 優先度が低い病態<br><br>軽症で医師以外でも手当てができると考えられる疾患<br>例) 過換気症候群、軽度熱傷、脱臼、擦過傷、切創、小骨折、<br>四肢骨折、打撲、捻挫、精神症状                                       |

当院の黒エリアは霊安室前に設置される予定であり、対応する傷病  
者は、呼吸をしていなかったり、生命兆候のない状態の方になります。ご  
家族への対応など、他のエリアよりシビアになることが予想されることもあ  
り、なるべく患者本人や家族に寄り添ったケアができるように、エリアの運  
用方法は慎重に検討していく必要があります。

そこで、防災会議・防災 WG 合同会議にて、医学部法医学科学教  
授の小谷 泰一先生より、黒エリア運用についての講義を行っていただき  
ました。小谷先生は、東日本大震災と能登半島地震の際に被災地の  
遺体安置所等にて支援活動に携わられており、その経験をもとに黒エリ  
アでのご遺体の管理方法や、身元不明者の身元判明までの流れ、死  
体検案書の書き方や注意点などについてお話いただきました。

今回の講義内容を踏まえて、黒エリアの運用方法や手順書の内容  
について改めて検討し、9/28の病院防災訓練での検証を経て、さらに  
運用しやすく、分かりやすいものに更新していく予定です。

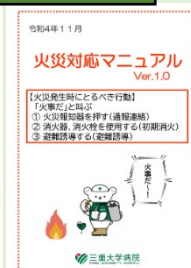
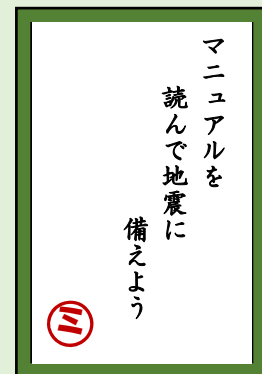


## Center Message

4月1日より災害対策コーディネーターとして災害対策推進・教育センターに配属されました。よろしくお願いします。まだまだ病院防災について新米で猛勉強の日々ですが、災害対策マニュアルを熟読し、備蓄品や ANPIC、EMIS など新しい知識を得る度に「心の支え」が増えていくように感じています。かわら版の読者の皆様にも、防災に関する知識を毎月お届けすることで、パニックに陥りやすい災害時の心を少しでもお支えできれば幸いです。（センター：広平）

## News 「災害対策マニュアル Ver.4.0」を 発刊しました

令和6年4月1日、災害対策マニュアル Ver.4.0 を発刊し  
ました。院内ポータルメニューや MINT3 からご覧いただけま  
す。



## 4/16（火）NBC 訓練（災害テント・除染テント展 開）を行いました

今回の訓練では防災会議・防災ワーキンググループのメンバ  
ーに加え、看護部やハイブリッドワークステーション等から総勢約  
50 名が参加し、感染症危機管理センター前にて災害テントと  
除染テントを展開しました。

テントの展開は未経験の職員が多い中、経験者である職  
員の指示のもと全員で協力し、重量が 100 kg 以上ある大き  
なテントをスムーズに展開することができました。

日頃は倉庫の中に眠っているこれらのテントですが、有事の際  
にはより安全かつ迅速に、また、少ない人数でも展開できるよう  
に、今後も定期的に訓練を行っていききたいと思います。

